

水みらい広島の取組み

(水道事業における公民連携)

平成28年（2016年）10月21日

株式会社水みらい広島

➤ 県営水道の経営課題

- ① 水需要減少に伴う収益の減少 （平成22年度→平成32年度 7.9%減少見込み）
- ② 技術力の継承 （平成30～32年度 19名、40%退職見込み）
- ③ 老朽化施設の更新 （埋設後30年超の管 280km、69%、
今後10年間の更新費用 500億円見込み）

➤ 経営方針 （広島県営水道ビジョン 平成23年1月）

経営基盤の強化

人材育成

信頼性向上

戦略目標

経営形態・事業運営の再構築

◎ 受水団体との一元化の推進

水道用水供給と水道の連携、共同化、統合

◎ 公民連携の推進

民間委託、県と民間のパートナーシップによる協働

水
み
ら
い
広
島

水みらい広島とは

我が国を代表する
総合商社

我が国を代表するエ
ンジニアリング企業

我が国を代表する風水
力機械装置メーカー



33.3%



33.3%



33.3%

水総合事業会社



65.0%

35.0%



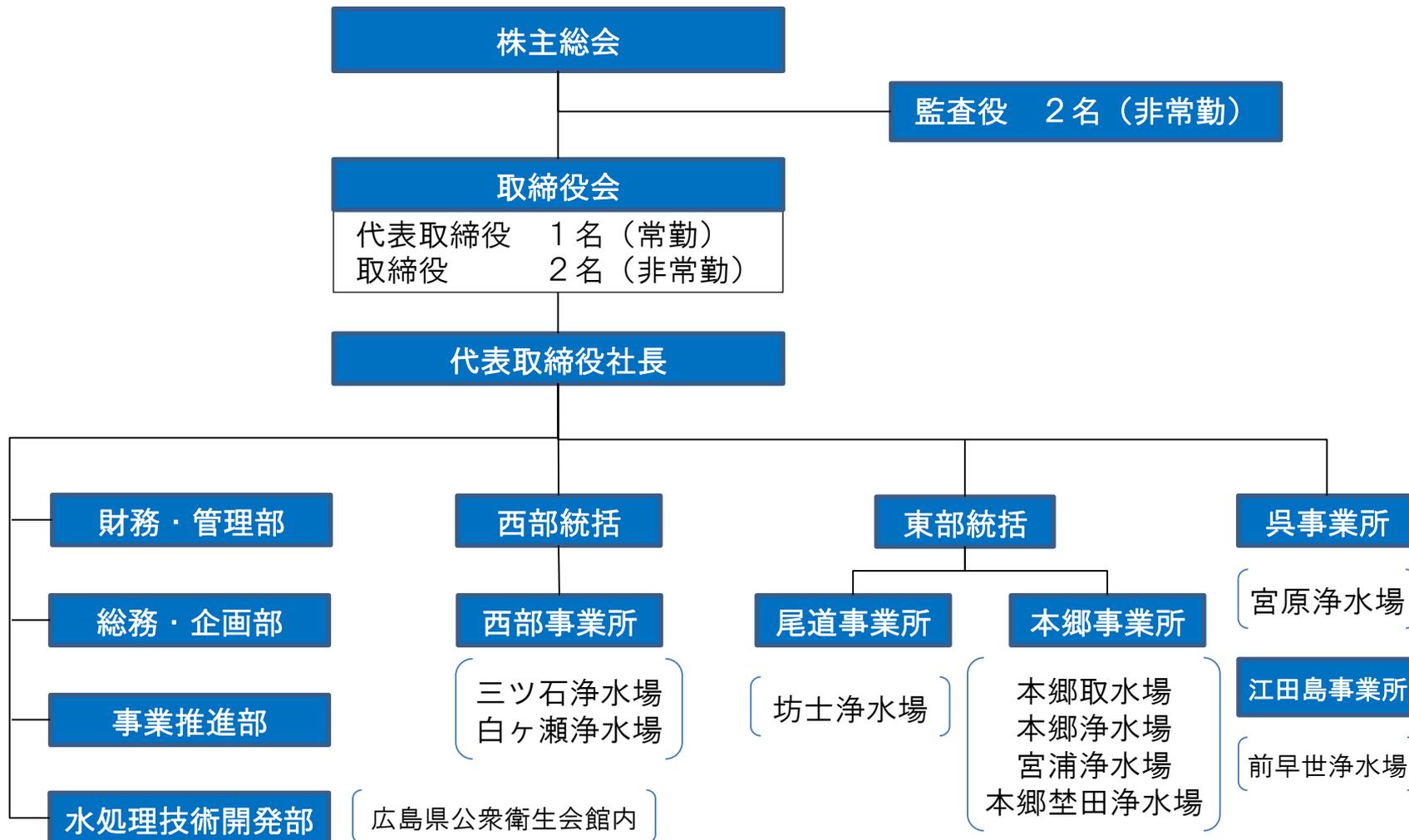
会社概要

- 1 商号 株式会社水みらい広島
- 2 創立 平成24年9月21日
- 3 代表者 代表取締役社長 真鍋 孝利
- 4 資本金 6,000万円（水ing株式会社：65%、広島県企業局：35%）
- 5 売上高 13億4,200万円（平成28年3月期）
- 6 事業内容 上下水道施設の運転・維持管理など
- 7 所在地 〒730-0029 広島市中区小町1-25 々々 広島ビル2F
TEL 082-258-1315
- 8 役員 代表取締役社長 真鍋 孝利（常勤）
取締役 岩瀬 徹（水ing株式会社執行役員）
取締役 兼森 裕（広島県企業局経営部長）
監査役 三ツ木 宏（水ing株式会社常務執行役員）
監査役 加賀美 和正（元広島県代表監査委員）
- 9 従業員数 143名（平成28年4月1日予定）

出資構成の理由

- ・民間ノウハウの最大化と県の責任の両立を図ったもの
- ・35%あれば、県は単独で特別決議事項を拒否可

平成28年4月1日現在



業務の実施状況（指定管理業務）

	広島西部地域水道 用水供給水道	沼田川工業用水道	沼田川水道用水 供給水道
指定管理 期 間	5 年間 (H25.4～H30.3)	5 年間 (H27.4～H32.3)	5 年間 (H27.4～H32.3)
管理施設 (施設能力)	三ツ石浄水場 白ヶ瀬浄水場 (123,000m ³ /日) 管路39.8km	本郷浄水場 (170,000m ³ /日) 管路56.7km	坊士浄水場 宮浦浄水場 本郷埜田浄水場 (60,100m ³ /日) 管路19.5km
給水量	3 市 57,307m ³ /日(平均)	工水23社 43,240m ³ /日(契約) 12,000m ³ /日(上水) 57,400m ³ /日(用水)	4 市 1 町 55,677m ³ /日(平均)
給水区域	広島市佐伯区、 大竹市、廿日市市	三原市、尾道市、 竹原市、福山市	三原市、尾道市、 福山市、東広島市、 愛媛県上島町

指定管理業務の範囲 (水道用水供給水道を例に)

